

松野博文大臣が災害科学国際研究所を視察されました(2017/07/26)

テーマ：東日本大震災、減災社会、災害と人間
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2017年7月26日(水)、松野博文大臣が災害科学国際研究所(IRIDeS)を視察され、今村文彦所長が当研究所の施設の概要と研究活動について、また今後発生が懸念される巨大災害に対する防災・減災とそれに関する研究について説明を行いました。また、蝦名裕一准教授(人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野)が歴史資料の保全・修復の具体的な手法や文理融合型の歴史災害研究について説明しました。それぞれにおいて活発な質疑応答、意見交換が行われ、松野大臣は歴史資料保全や修復の作業工程について、熱心にご覧になっていました。28日(金)に指定国立大学の認定を受け、今後、4つの研究拠点の1つとしての災害科学研究を推進する予定です。



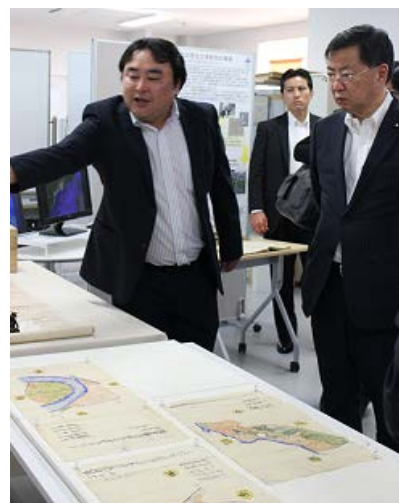
今村所長による報告



青葉山 commons の視察



歴史資料修復作業の視察



災害に関する歴史資料の説明

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）、蝦名裕一（人間・社会対応研究部門）
写真：鈴木通江（広報室）